

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東京造形大学
設置者名	学校法人 桑沢学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数			省令で定める基準単位数	配置困難
			学部等 共通科目	専門科目	合計		
造形学部	デザイン学科 (グラフィックデザイン専攻領域)	夜・通信	112	105	217	13	
	デザイン学科 (写真専攻領域)	夜・通信		70	182	13	
	デザイン学科 (映画・映像専攻領域)	夜・通信		56	168	13	
	デザイン学科 (アニメーション専攻領域)	夜・通信		74	186	13	
	デザイン学科 (メディアデザイン専攻領域)	夜・通信		49	161	13	
	デザイン学科 (室内建築専攻領域)	夜・通信		66	178	13	
	デザイン学科 (インダストリアルデザイン専攻領域)	夜・通信		88	200	13	
	デザイン学科 (テキスタイルデザイン専攻領域)	夜・通信		76	188	13	
	美術学科 (絵画専攻領域)	夜・通信		137	249	13	
	美術学科 (彫刻専攻領域)	夜・通信		110	222	13	
(備考)							
1～2年…新課程 (2018年度以降教育課程)							
3～4年…旧課程 (2017年度以前教育課程)							

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学公式ホームページ (シラバス) にて公開 https://www.zokei.ac.jp/academics/curriculum-menu/syllabus/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京造形大学
設置者名	学校法人 桑沢学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.kuwasawa.ac.jp/message.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	公益社団法人事務局長	2018.6.1 ～2022.5.31	法人運営体制のチ ェック機能
(備考) 2020年4月1日までに、複数の学外者である理事の選任を確実に実施する。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京造形大学
設置者名	学校法人 桑沢学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書(シラバス)は次年度授業確定後(12月)より執筆の依頼を行っている。</p> <p>記載する内容は以下のとおりである。なお、シラバス執筆担当者にシラバス入稿・ループリックに関するマニュアルを配布している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業の目的 ○授業の計画(週もしくは回数ごと) ○授業の内容 ○到達目標 ○履修目標 ○成績評価の方法 ○ループリック(任意) ○事前・事後学習 ○テキスト ○参考書 ○履修者が用意するもの及び要望 <p>シラバスの入稿期限は3月上旬となっており、その後、科目を所管する組織の代表がシラバスの内容を確認及び修正した後に、3月下旬頃大学公式ホームページにて公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.zokei.ac.jp/academics/syllabus/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>シラバスに「成績評価の方法」を明記し、学生に周知するとともに、教務課より「教務関係案内」を毎年全教員に配付し、成績評価やGPA制度について周知している。</p> <p>成績評価は試験及びレポートや最終的な課題作品などの評価に加え、講評会や授業内発表の様子など、多角的に履修者の学修成果を判断し、S (90～100点)、A (80～89点)、B (70～79点)、C (60～69点)、F (59点以下) の5段階で表し、S・A・B・Cを合格とし、所定の単位を与えている。不合格の場合、その単位を修得するには、次年度以降に再度履修し、合格の評価を得なければならない。</p> <p>追試験の場合は、その試験の成績点数は79点以下とし、再試験の場合は、成績評価はC (60点) またはF (59点以下) としている。</p>	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>教務課より「教務関係案内」を毎年全教員に配付し、成績評価やGPA制度について周知している。</p> <p>学生には成績発表の際に下記の算出方法に基づき算出された値を教務システム「CampusNet」を通じて通知している。</p> <p>該当年度のGPAを学科・学年ごとに算出し、下位4分の1を客観的な指標として設定している。</p> <p>GPの算出方法は以下のとおり。 $GP = 100 \text{ 点法による原成績 (素点)} - 55/10$ ※ただしGPが0.5未満の場合は一律0とする。 $GPA = (\text{科目のGP} \times \text{その科目の単位数}) \text{ の合計} / \text{履修した科目の単位数の合計}$</p> <p>なお、以下の科目はGPA算出対象外とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①資格課程科目のうち卒業要件に含まれない科目 ②国内大学等単位互換 ③海外留学等単位互換 ④履修を取り消した科目 ⑤学籍異動 (休学・退学・除籍) により履修を継続できない科目 ⑥他大学等での既修得単位認定科目および編入学生の一括単位認定科目 ⑦同一科目再履修の場合の、前回以前の履修科目 	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.zokei.ac.jp/university/disclosure/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

使命・目的及び教育目的の達成に向けた本学の方針の一つとして、下記のとおり造形学部ディプロマ・ポリシーを学科ごとに定めている。ディプロマ・ポリシーは、学部入学時に学生に配付する「キャンパスガイド」に、教育の目的やアドミッション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーとともに掲載し、学生への周知を図るとともに、本学ホームページにおいて公表し、社会への周知を図っている。

【デザイン学科】

東京造形大学造形学部デザイン学科は、本学の教育上の目的に基づき、本学科における学修をとおして以下に示す五つの能力・技能等を身につけ、学則及び学位規程に定める卒業に必要な条件を満たした者に対して、卒業を認定し、「学士（造形）」の学位を授与します。

- (1) デザインに関する理論や技術について、理解することができる。
- (2) デザインに必要な技能を身につけている。
- (3) デザインに関する理論や技術を応用し、実践に結びつけて考え表現することができる。
- (4) 人間や文化に関する豊かな教養を身につけ、広い視野から造形活動について理解することができる。
- (5) 社会や時代の動向に関心を持ち、主体的に課題をみつけ出し、デザインの知識や技能を応用して解決に取り組むことができる。

【美術学科】

東京造形大学造形学部美術学科は、本学の教育上の目的に基づき、本学科における学修をとおして以下に示す五つの能力・技能等を身につけ、学則及び学位規程に定める卒業に必要な条件を満たした者に対して、卒業を認定し、「学士（造形）」の学位を授与します。

- (1) 美術に関する理論や技術について、理解することができる。
- (2) 美術に必要な技能を身につけている。
- (3) 美術に関する理論や技術を応用し、実践に結びつけて考え表現することができる。
- (4) 人間や文化に関する豊かな教養を身につけ、広い視野から造形活動について理解することができる。
- (5) 社会や時代の動向に関心を持ち、主体的に課題をみつけ出し、美術の知識や技能を応用して解決に取り組むことができる。

卒業認定については、学部教育課程が定める下記の卒業要件に則り、教授会において厳正に審議、決定している。

【2018年度以降教育課程】

<デザイン学科・美術学科共通>

- ① 「キャリアデザイン」のうち「日本語表現法」（1単位）を修得していること
 - ② 「語学」のうち1年次指定必修科目（2単位）および英語科目より2単位の4単位以上修得していること
 - ③ 「身体」より1単位以上修得していること
 - ④ 「自然・人文科学」より4単位以上修得していること（資格課程科目を除く）
- ①, ②, ③, ④を含め「人間形成科目」から24単位以上を修得していること

- ⑤ 「ハイブリッド基礎科目」より2単位以上修得していること
 - ⑥ 「サステナブル科目」より2単位以上修得していること
 - ⑦ 「ゼミナール」より「ゼミナールⅠ」2単位を修得していること
- ⑤, ⑥, ⑦を含め「ハイブリッド科目」から12単位以上修得していること
- ⑧ 修得した単位数の合計が124単位以上であること

<デザイン学科>

- ・「基礎科目」12単位以上修得していること
- ・2年次に履修する「研究指標科目」8単位を修得していること
- ・3・4年次に履修する「研究指標科目」12単位を修得していること
- ・卒業研究12単位を修得していること
- ・「専門理論科目」より8単位以上修得していること

<美術学科>

- ・「基礎科目」16単位以上修得していること
- ・2年次に履修する「研究指標科目」13単位を修得していること
- ・3年次に履修する「研究指標科目」18単位を修得していること
- ・4年次に履修する「研究指標科目」10単位を修得していること
- ・卒業制作12単位を修得していること
- ・「専門理論科目」より4単位以上修得していること

【2017年度以前教育課程】

<デザイン学科・美術学科共通>

- 「Z群」1単位以上、「A群」のうち外国語科目から2単位以上、「B群」のうち「健康科学A・B」「基礎スポーツA・B」から2単位以上、およびその他B群科目を含めて合計4単位以上、「C群」のうち歴史系科目から4単位以上、およびその他C群の科目を含めて合計8単位以上、「D群」4単位以上を修得の上、教養科目19単位以上、を修得していること。
- 「造形基礎科目」2単位以上、を修得していること。
- 「ハイブリッド科目」4単位以上、を修得していること。
- 「サステナブルプロジェクト科目」のうち「基礎」から2単位以上、を修得していること。
- 「ゼミナールⅠ」2単位、を修得していること。
- 修得した単位数の合計が124単位以上、であること。

<デザイン学科>

- 「共通科目」は、所属専攻領域所管の科目から4単位以上、その他（教職課程科目を除く）を含めて合計8単位以上、「基礎科目」12単位以上、「研究指標科目」16単位以上、「卒業研究」6単位、を修得していること。

<美術学科>

- 「基礎科目」15単位以上、「研究指標科目」22単位以上、「卒業制作」6単位、を修得していること。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.zokei.ac.jp/university/disclosure/
----------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東京造形大学
設置者名	学校法人桑沢学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kuwasawa.ac.jp/report5.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.kuwasawa.ac.jp/report5.html
財産目録	https://www.kuwasawa.ac.jp/pdf/mokuroku2018.pdf
事業報告書	https://www.kuwasawa.ac.jp/pdf/jigyoku2018.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.kuwasawa.ac.jp/pdf/kansa2018.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.zokei.ac.jp/wp-content/uploads/2018/04/inspect_2017.pdf https://www.zokei.ac.jp/wp-content/uploads/2018/11/inspect_2018data.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 造形学部
教育研究上の目的 (公表方法 : https://www.zokei.ac.jp/university/disclosure/)
(概要) 1. 本学造形学部は、本学の使命・目的を「専門性」「総合性」「社会性」の三つの観点から捉え、教育研究を通して次に掲げる五つの能力・技能等を涵養することを教育上の目的とする。 (1) デザイン及び美術に関する理論や技術についての知識と理解力 (専門性・基礎) (2) 造形活動を実践するために必要な技能 (専門性・基礎) (3) デザイン及び美術に関する理論や技術を、実践に結びつけて考え表現する表現力 (専門性・展開及び発展) (4) 人間や文化について、幅広い知識を身につけ、広い視野から理解することができる思考力・判断力 (総合性) (5) 現代社会に関心を持ち、課題をみつけ出して解決に取り組むことができる関心・意欲・態度 (社会性) 2. 本学造形学部は、デザイン及び美術の諸領域における優れた専門的知識・技術を教授研究し、文化の創造と社会の発展に貢献することを研究上の目的とする。
卒業の認定に関する方針
(公表方法 : https://www.zokei.ac.jp/university/disclosure/)
(概要) 〔デザイン学科〕 東京造形大学造形学部デザイン学科は、本学の教育上の目的に基づき、本学科における学修をとおして以下に示す五つの能力・技能等を身につけ、学則および学位規程に定める卒業に必要な条件を満たした者に対して、卒業を認定し、「学士(造形)」の学位を授与します。 (1) デザインに関する理論や技術について、理解することができる。 (2) デザインに必要な技能を身につけている。 (3) デザインに関する理論や技術を応用し、実践に結びつけて考え表現することができる。 (4) 人間や文化に関する豊かな教養を身につけ、広い視野から造形活動について理解することができる。 (5) 社会や時代の動向に関心を持ち、主体的に課題をみつけ出し、デザインの知識や技能を応用して解決に取り組むことができる。 〔美術学科〕 東京造形大学造形学部美術学科は、本学の教育上の目的に基づき、本学科における学修をとおして以下に示す五つの能力・技能等を身につけ、学則および学位規程に定める卒業に必要な条件を満たした者に対して、卒業を認定し、「学士(造形)」の学位を授与します。 (1) 美術に関する理論や技術について、理解することができる。 (2) 美術に必要な技能を身につけている。 (3) 美術に関する理論や技術を応用し、実践に結びつけて考え表現することができる。

(4) 人間や文化に関する豊かな教養を身につけ、広い視野から造形活動について理解することができる。

(5) 社会や時代の動向に関心を持ち、主体的に課題をみつけ出し、美術の知識や技能を応用して解決に取り組むことができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：<https://www.zokei.ac.jp/university/disclosure/>)

(概要)

本学では使命・目的及び教育目的の達成に向けた本学の方針の一つとして、造形学部のカリキュラム・ポリシーを学科ごとに下記のとおり策定している。

【2018年度以降教育課程】

〔デザイン学科〕

東京造形大学造形学部デザイン学科は、卒業認定・学位授与の方針を踏まえ、本学の教育上の目的に基づき、以下の方針のもとに教育課程を編成し実施します。

<教育課程の編成>

本学科における学修を通じて、教育上の目的に掲げる能力・技能等を培うために、専門性を高める「専門科目」、総合的な視野を獲得する「人間形成科目」、社会的視点を身につける「ハイブリッド科目」の三種に大別される科目区分により体系的な教育課程を編成します。

(1) 専門科目では、デザインに関する知識と技能等を身につけ、それらを応用し実践的に考え表現することができる高い専門能力を培うために、「基礎科目」「研究指標科目」「選択科目」「卒業研究」「専門理論科目」「学科共通科目」の科目区分を設けて授業科目を配置します。

(2) 人間形成科目では、人間や文化に関する豊かな教養を身につけ、広い視野から造形活動を理解することができる総合的な視野と能力を培うために、「キャリアデザイン」「語学」「身体」「自然・人文科学」の科目群を設けて授業科目を配置します。

(3) ハイブリッド科目では、専門性についての認識を広げ、社会や時代の動向に対する関心を高め、主体的に課題をみつけ出して解決に取り組む態度と技能を培うために、「ハイブリッド基礎科目」「サステナブル科目」「プロジェクト科目」「ゼミナール」の科目群を設けて授業科目を配置します。

(4) 必修科目で学ぶ内容や段階を明確に示すとともに、学生がそれぞれ主体的に学ぶことのできる多様な選択科目を配置します。

<教育課程の実施>

本学科の教育課程における科目・科目区分の各授業科目は、以下の方針のもと、教育効果を高めるための適切な教育方法により実施します。

(1) 教育内容に応じ、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を実施し、多様な学びの促進を図ります。

(2) 適切な履修年次を明示し、学びの順次性を重視した教育を実施します。

(3) 演習、実習科目では、少人数制教育を重視し、アクティブ・ラーニングを積極的に導入します。

(4) 地域や社会と連携したPBL(プロジェクト・ベースド・ラーニング)、サービス・ラーニングなどを取り入れた教育を実施します。

〔美術学科〕

東京造形大学造形学部美術学科は、卒業認定・学位授与の方針を踏まえ、本学の教育上の目的に基づき、以下の方針のもとに教育課程を編成し実施します。

<教育課程の編成>

本学科における学修を通じて、教育上の目的に掲げる能力・技能等を培うために、専門性を高める「専門科目」、総合的な視野を獲得する「人間形成科目」、社会的視点を身につける「ハイブリッド科目」の三種に大別される科目区分により体系的な教育課程を編成します。

(1) 専門科目では、美術に関する知識と技能等を身につけ、それらを応用し実践的に考え表現することのできる高い専門能力を培うために、「基礎科目」「研究指標科目」「卒業制作」「専門理論科目」「学科共通科目」の科目区分を設けて授業科目を配置します。

(2) 人間形成科目では、人間や文化に関する豊かな教養を身につけ、広い視野から造形活動を理解することができる総合的な視野と能力を培うために、「キャリアデザイン」「語学」「身体」「自然・人文科学」の科目群を設けて授業科目を配置します。

(3) ハイブリッド科目では、専門性についての認識を広げ、社会や時代の動向に対する関心を高め、主体的に課題をみつけ出して解決に取り組む態度と技能を培うために、「ハイブリッド基礎科目」「サステナブル科目」「プロジェクト科目」「ゼミナール」の科目群を設けて授業科目を配置します。

(4) 必修科目で学ぶ内容や段階を明確に示すとともに、学生がそれぞれ主体的に学ぶことのできる多様な選択科目を配置します。

<教育課程の実施>

本学科の教育課程における科目・科目区分の各授業科目は、以下の方針のもと、教育効果を高めるための適切な教育方法により実施します。

(1) 教育内容に応じ、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を実施し、多様な学びの促進を図ります。

(2) 適切な履修年次を明示し、学びの順次性を重視した教育を実施します。

(3) 演習、実習科目では、少人数制教育を重視し、アクティブ・ラーニングを積極的に導入します。

(4) 地域や社会と連携したPBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）、サービス・ラーニングなどを取り入れた教育を実施します。

【2017年度以前教育課程】

〔デザイン学科〕

東京造形大学造形学部デザイン学科は、卒業認定・学位授与の方針を踏まえ、本学の教育上の目的に基づき、以下の方針のもとに教育課程を編成し実施します。

<教育課程の編成>

本学科における学修を通じて、教育上の目的に掲げる能力・技能等を培うために、専門性を高める「専門科目」、総合的な視野を獲得する「学部共通科目」、社会的視点を身につける「ゼミナール」の三種に大別される科目により体系的な教育課程を編成します。

(1) 専門科目では、デザインに関する知識と技能等を身につけ、それらを応用し実践的に考え表現することのできる高い専門能力を培うために、「専攻領域科目」「学科共通科目」の科目区分を設けて授業科目を配置します。

(2) 学部共通科目では、人間や文化に関する豊かな教養を身につけ、広い視野から造形活動を理解することができる能力を培うために、「教養科目」「造形基礎科目」「ハイブリッド科目」「サステナブルプロジェクト科目」を配置します。

(3) ゼミナールでは、社会や時代の動向に対する関心を高め、協働して課題に取り組む態度と技能や、より高度で多様な研究を展開する能力を培うために、4年次生を対象とした科目として配置します。

(4) 必修科目で学ぶ内容や段階を明確に示すとともに、学生がそれぞれ主体的に学ぶことのできる多様な選択科目を配置します。

<教育課程の実施>

本学科の教育課程における科目・科目区分の各授業科目は、以下の方針のもと、教育効果を高めるための適切な教育方法により実施します。

(1) 教育内容に応じ、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を実施し、多様な学びの促進を図ります。

(2) 適切な履修年次を明示し、学びの順次性を重視した教育を実施します。

(3) 演習、実習科目では、少人数制教育を重視し、アクティブ・ラーニングを積極的に導入します。

(4) 地域や社会と連携した PBL (プロジェクト・ベースド・ラーニング)、サービス・ラーニングなどを取り入れた教育を実施します。

[美術学科]

東京造形大学造形学部美術学科は、卒業認定・学位授与の方針を踏まえ、本学の教育上の目的に基づき、以下の方針のもとに教育課程を編成し実施します。

<教育課程の編成>

本学科における学修を通じて、教育上の目的に掲げる能力・技能等を培うために、専門性を高める「専門科目」、総合的な視野を獲得する「学部共通科目」、社会的視点を身につける「ゼミナール」の三種に大別される科目により体系的な教育課程を編成します。

(1) 専門科目では、美術に関する知識と技能等を身につけ、それらを応用し実践的に考え表現することのできる高い専門能力を培うために、「専攻領域科目」「学科共通科目」の科目区分を設けて授業科目を配置します。

(2) 学部共通科目では、人間や文化に関する豊かな教養を身につけ、広い視野から造形活動を理解することができる能力を培うために、「教養科目」「造形基礎科目」「ハイブリッド科目」「サステナブルプロジェクト科目」を配置します。

(3) ゼミナールでは、社会や時代の動向に対する関心を高め、協働して課題に取り組む態度と技能や、より高度で多様な研究を展開する能力を培うために、4 年次生を対象とした科目として配置します。

(4) 必修科目で学ぶ内容や段階を明確に示すとともに、学生がそれぞれ主体的に学ぶことのできる多様な選択科目を配置します。

<教育課程の実施>

本学科の教育課程における科目・科目区分の各授業科目は、以下の方針のもと、教育効果を高めるための適切な教育方法により実施します。

(1) 教育内容に応じ、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を実施し、多様な学びの促進を図ります。

(2) 適切な履修年次を明示し、学びの順次性を重視した教育を実施します。

(3) 演習、実習科目では、少人数制教育を重視し、アクティブ・ラーニングを積極的に導入します。

(4) 地域や社会と連携した PBL (プロジェクト・ベースド・ラーニング)、サービス・ラーニングなどを取り入れた教育を実施します。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：<https://www.zokei.ac.jp/university/disclosure/>)

(概要)

〔デザイン学科〕

東京造形大学デザイン学科は、本学の教育上の目的を理解してこれに共感し、本学で学ぶ強い意志と次の目的意識をあわせ持つ、意欲のある人材を求めます。

入学者に対しては、以下の「入学者に求める要件」に示す能力・姿勢等を求め、「入学者選抜における評価方法」に示す方法でこれを評価します。

<入学者に求める目的意識>

(1) グラフィックデザイン、写真、映画・映像、アニメーション、メディアデザイン、室内建築、インダストリアルデザイン、テキスタイルデザインのいずれかの分野に興味関心を持ち、専門的な理論や技術、技能を身につけたい人。

(2) 人間や文化に関する豊かな教養を身につけ、広い視野から造形活動について理解したい人。

(3) 社会や時代の動向に関心を持ち、デザインの知識や技能を応用して社会に貢献したい人。

<入学者に求める要件>

(1) 高等学校教育課程修了相当程度の基礎的学力・学修能力及び基本的思考力・表現力を有する人。

(2) 多様な考え・文化を受け入れ、他者の考えを聴き自分の考えを伝える建設的な意思疎通の態度を有する人。

(3) 自己の能力を高め成長しようとする意欲を有する人。

<入学者選抜における評価方法>

入学者を選抜するために、一般入学試験、AO（自己アピール）入学試験、推薦入学試験、3年次編入学試験を実施します。これらの入学試験では、個別学力検査、小論文や実技による専門試験、大学入試センター試験、調査書、自己アピール資料、プレゼンテーション、ポートフォリオ、面接など、多様な評価尺度を試験方法ごとに組み合わせて実施することにより、志願者の能力や資質を多面的・総合的に評価します。

〔美術学科〕

東京造形大学美術学科は、本学の教育上の目的を理解してこれに共感し、本学で学ぶ強い意志と次の目的意識をあわせ持つ、意欲のある人材を求めます。

入学者に対しては、以下の「入学者に求める要件」に示す能力・姿勢等を求め、「入学者選抜における評価方法」に示す方法でこれを評価します。

<入学者に求める目的意識>

(1) 絵画、彫刻のいずれかの分野に興味関心を持ち、専門的な理論や技術、技能を身につけたい人。

(2) 人間や文化に関する豊かな教養を身につけ、広い視野から造形活動について理解したい人。

(3) 社会や時代の動向に関心を持ち、美術の知識や技能を応用して社会に貢献したい人。

<入学者に求める要件>

(1) 高等学校教育課程修了相当程度の基礎的学力・学修能力及び基本的思考力・表現力を有する人。

(2) 多様な考え・文化を受け入れ、他者の考えを聴き自分の考えを伝える建設的な意思疎通の態度を有する人。

(3) 自己の能力を高め成長しようとする意欲を有する人。

<入学者選抜における評価方法>

入学者を選抜するために、一般入学試験、AO（自己アピール）入学試験、推薦入学試験、3年次編入学試験を実施します。これらの入学試験では、個別学力検査、小論文や実技による専門試験、大学入試センター試験、調査書、自己アピール資料、プレゼンテーション、ポートフォリオ、面接など、多様な評価尺度を試験方法ごとに組み合わせて実施することにより、志願者の能力や資質を多面的・総合的に評価します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.zokei.ac.jp/university/organization/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					人
造形学部	—	31人	13人	人	3人	人	50人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
人			275人				275人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)			公表方法： https://www.zokei.ac.jp/academics/faculty/				
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
造形学部	380人	453人	119.2%	1,558人	1,781人	114.3%	19人	11人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	380人	453人	119.2%	1,558人	1,781人	114.3%	19人	11人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
造形学部	405人 (100%)	22人 (5.4%)	237人 (58.5%)	146人 (36.1%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業計画書（シラバス）は次年度授業確定後（12月）より執筆の依頼を行っている。記載する内容は以下のとおりである。なお、シラバス執筆担当者にシラバス入稿・ループリックに関するマニュアルを配布している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業の目的 ○授業の計画（週もしくは回数ごと） ○授業の内容 ○到達目標 ○履修目標 ○成績評価の方法 ○ループリック（任意） ○事前・事後学習 ○テキスト ○参考書 ○履修者が用意するもの及び要望 <p>シラバスの入稿期限は3月上旬となっており、その後、科目を所管する組織の代表がシラバスの内容を確認及び修正した後に、3月下旬頃大学公式ホームページにて公表している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>使命・目的及び教育目的の達成に向けた本学の方針の一つとして、下記のとおり造形学部のディプロマ・ポリシーを学科ごとに定めている。ディプロマ・ポリシーは、学部入学時に学生に配付する「キャンパスガイド」に、教育の目的やアドミッション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーとともに掲載し、学生への周知を図るとともに、本学ホームページにおいて公表し、社会への周知を図っている。</p> <p>【デザイン学科】</p> <p>東京造形大学造形学部デザイン学科は、本学の教育上の目的に基づき、本学科における学修をとおして以下に示す五つの能力・技能等を身につけ、学則及び学位規程に定める卒業に必要な条件を満たした者に対して、卒業を認定し、「学士（造形）」の学位を授与します。</p>
--

- (1) デザインに関する理論や技術について、理解することができる。
- (2) デザインに必要な技能を身につけている。
- (3) デザインに関する理論や技術を応用し、実践に結びつけて考え表現することができる。
- (4) 人間や文化に関する豊かな教養を身につけ、広い視野から造形活動について理解することができる。
- (5) 社会や時代の動向に関心を持ち、主体的に課題をみつけ出し、デザインの知識や技能を応用して解決に取り組むことができる。

【美術学科】

東京造形大学造形学部美術学科は、本学の教育上の目的に基づき、本学科における学修をとおして以下に示す五つの能力・技能等を身につけ、学則及び学位規程に定める卒業に必要な条件を満たした者に対して、卒業を認定し、「学士（造形）」の学位を授与します。

- (1) 美術に関する理論や技術について、理解することができる。
- (2) 美術に必要な技能を身につけている。
- (3) 美術に関する理論や技術を応用し、実践に結びつけて考え表現することができる。
- (4) 人間や文化に関する豊かな教養を身につけ、広い視野から造形活動について理解することができる。
- (5) 社会や時代の動向に関心を持ち、主体的に課題をみつけ出し、美術の知識や技能を応用して解決に取り組むことができる。

卒業認定については、学部教育課程が定める下記の卒業要件に則り、教授会において厳正に審議、決定している。

【2018 年度以降教育課程】

<デザイン学科・美術学科共通>

- ① 「キャリアデザイン」のうち「日本語表現法」（1 単位）を修得していること
 - ② 「語学」のうち 1 年次指定必修科目（2 単位）および英語科目より 2 単位の 4 単位以上修得していること
 - ③ 「身体」より 1 単位以上修得していること
 - ④ 「自然・人文科学」より 4 単位以上修得していること（資格課程科目を除く）
- ①, ②, ③, ④を含め「人間形成科目」から 24 単位以上を修得していること
- ⑤ 「ハイブリッド基礎科目」より 2 単位以上修得していること
 - ⑥ 「サステナブル科目」より 2 単位以上修得していること
 - ⑦ 「ゼミナール」より「ゼミナールⅠ」2 単位を修得していること
- ⑤, ⑥, ⑦を含め「ハイブリッド科目」から 12 単位以上修得していること
- ⑧ 修得した単位数の合計が 124 単位以上であること

<デザイン学科>

- ・「基礎科目」12 単位以上修得していること
- ・2 年次に履修する「研究指標科目」8 単位を修得していること
- ・3・4 年次に履修する「研究指標科目」12 単位を修得していること
- ・卒業研究 12 単位を修得していること
- ・「専門理論科目」より 8 単位以上修得していること

<美術学科>

- ・「基礎科目」16 単位以上修得していること

- ・2年次に履修する「研究指標科目」13単位を修得していること
- ・3年次に履修する「研究指標科目」18単位を修得していること
- ・4年次に履修する「研究指標科目」10単位を修得していること
- ・卒業制作12単位を修得していること
- ・「専門理論科目」より4単位以上修得していること

【2017年度以前教育課程】

<デザイン学科・美術学科共通>

○「Z群」1単位以上、「A群」のうち外国語科目から2単位以上、「B群」のうち「健康科学A・B」「基礎スポーツA・B」から2単位以上、およびその他B群科目を含めて合計4単位以上、「C群」のうち歴史系科目から4単位以上、およびその他C群の科目を含めて合計8単位以上、「D群」4単位以上を修得の上、教養科目19単位以上、を修得していること。

○「造形基礎科目」2単位以上、を修得していること。

○「ハイブリッド科目」4単位以上、を修得していること。

○「サステナブルプロジェクト科目」のうち「基礎」から2単位以上、を修得していること。

○「ゼミナールI」2単位、を修得していること。

○修得した単位数の合計が124単位以上、であること。

<デザイン学科>

○「共通科目」は、所属専攻領域所管の科目から4単位以上、その他（教職課程科目を除く）を含めて合計8単位以上、「基礎科目」12単位以上、「研究指標科目」16単位以上、「卒業研究」6単位、を修得していること。

<美術学科>

○「基礎科目」15単位以上、「研究指標科目」22単位以上、「卒業制作」6単位、を修得していること。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
造形学部 (2018年度以降教 育課程)	デザイン学科 (グラフィックデ ザイン専攻領域)	124単位	④・無	20単位
	デザイン学科 (写真専攻領域)	124単位	④・無	20単位
	デザイン学科 (映画・映像専攻 領域)	124単位	④・無	20単位
	デザイン学科 (アニメーション 専攻領域)	124単位	④・無	20単位
	デザイン学科 (メディアデザイ ン専攻領域)	124単位	④・無	20単位
	デザイン学科 (室内建築専攻領 域)	124単位	④・無	20単位
	デザイン学科 (インダストリア ルデザイン専攻領 域)	124単位	④・無	20単位
	デザイン学科 (テキスタイルデ ザイン専攻領域)	124単位	④・無	20単位

	美術学科 (絵画専攻領域)	124 単位	①・無	20 単位
	美術学科 (彫刻専攻領域)	124 単位	①・無	20 単位
造形学部 (2017 年度以前教 育課程)	デザイン学科 (グラフィックデ ザイン専攻領域)	124 単位	①・無	24 単位
	デザイン学科 (写真専攻領域)	124 単位	①・無	24 単位
	デザイン学科 (映画・映像専攻 領域)	124 単位	①・無	24 単位
	デザイン学科 (アニメーション 専攻領域)	124 単位	①・無	24 単位
	デザイン学科 (メディアデザイ ン専攻領域)	124 単位	①・無	24 単位
	デザイン学科 (室内建築専攻領 域)	124 単位	①・無	24 単位
	デザイン学科 (インダストリアル デザイン専攻領 域)	124 単位	①・無	24 単位
	デザイン学科 (テキスタイルデ ザイン専攻領域)	124 単位	①・無	24 単位
	美術学科 (絵画専攻領域)	124 単位	①・無	24 単位
	美術学科 (彫刻専攻領域)	124 単位	①・無	24 単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : <https://www.zokei.ac.jp/university/map/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
造形	デザイン	1,265,000 円	300,000 円	350,000 円	
	美術	1,265,000 円	300,000 円	350,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>教務運営全般を支援するための事務組織として事務部に教務課を設けている。教務運営業務では、学部及び研究科それぞれの教育運営を統括する教育運営会議及び研究科運営会議を中心に、教員と協働しながら、教務運営全般に関する業務を行っている。教務課は、他部署と協働して入学者に対するオリエンテーションを開催し、本学で学修する上での基本的かつ重要な事項について指導している。また、専攻領域ごとの専門科目を所管する「専門部会」の所属教員と協働し、年度当初に各専攻領域の学年ごとに履修ガイダンスを開催するとともに、全学生に対して教員及び職員による個別履修相談の機会を設けている。教務支援システム「CampusNet」では、インターネットを利用した履修登録や学生個人の時間割や成績照会等を行うことが可能であり、大学ホームページ上でもシラバス情報を提供している。更に、資格課程に関するオリエンテーションやガイダンスを行い、これらを通じて本学での学修に必要な履修指導と学修指導を行っている。</p> <p>また、教務課では、専攻領域ごとの所属学生の単位修得状況を「専門部会」に伝えるとともに、単位修得状況が芳しくない学生に対する面談の実施などの個別対応を通して、学生の学修支援を行っている。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>キャリア支援室は1号館本部・研究棟の2階、就職課内に位置し、専任の職員の他、美術・デザインに精通したキャリアカウンセラーを配置し、学生のキャリアや就職活動に関して、包括的な支援を行っている。資料スペースには求人票や会社案内、各種新聞を揃えている。履歴書・エントリーシート対策、SPI試験対策、企業研究や業界研究などに役立つ書籍をはじめ、卒業生が在学中に作成したポートフォリオも揃えており、美術系大学ならではの支援をしている。2014年9月にキャリア支援室をリニューアルし、求人票や就職関連資料、ポートフォリオの閲覧スペースを拡充した。更に個別相談ブースや個人のプライバシーを重視した相談コーナーを増設し、学生一人一人に対してよりきめ細やかなサポート環境を整えている。また、3年生および大学院1年生を対象とした「進路ガイダンス」および「就職支援セミナー」を開催している。単に就職活動のテクニックを身に付けるだけでなく、「自分らしい生き方を探すこと」を最大のテーマとし、「勤労観・就職観」「社会人基礎力」などの内容について考えることから始め、その後は就職活動の進捗状況にあわせて、就職活動に役立つ知識・技術を身に付けることができるような、美術系大学である本学独自の内容を最大限に取り入れたプログラムを組んでいる。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学生一人一人が健全な心身を保ち、充実した学生生活をおくることができるよう側面から援助する目的で「カウンセリングルーム」を設けている。個人対個人の接触を基本にして学生の相談相手になり、学生と一緒に相談内容の秘密をかたく守りながら問題の解決に努めている。専門のカウンセラーによる相談を受けたい学生は、予約をした上で、カウンセリングルームで相談を受けることができる。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.zokei.ac.jp/activity/>